

CASA新聞



前期最終節黒星

足利クラブに0-1黒星

7月3日に栃木県リーグ第7節足利クラブ戦が行われた。

前半から足利クラブはカウンター狙いの堅守速攻のサッカーをしてきた。

CASAはゴール手前まで攻めることはできるが、シュートを決めることが出来ず苦しい試合展開になった。

後半に入り、シュート数は増えたが、制度の高いシュートが打てず時間だけが経過していった。試合も終盤に入り、足利

クラブの早いカウンターからサイドを突破される。セントリングを上げられ、中で待っていた選手がダイレクトでシュート。GK35番平井の頭上を越えて、ゴールを決められた。

前節2-0で快勝して、勢いに乗りたかったCASAだが、前期最終節で7位の足利クラブに負けたことで、チームの未熟差を感じずにはいられなかった。

後期リーグ開幕、足利御厨に逆転勝利

7月10日、足利陸上競技場にて、県リーグ第8節足利御厨とAS C A S Aの試合が行われた。

この試合から後期リーグが開幕し、今シーズン知事杯を合わせると、3試合目になる。今回の試合は、C

Jバス宇都宮に勝利、後期2連勝

7月17日栃木市陸上競技場でリーグ9節Jバス宇都宮戦が行われた。前節、劇的逆転勝利をして、開幕2連勝を狙うCASAのモチベーションは高かった。

前半から果敢に相手陣地に侵入して、シュートを打ち、チャンスを多く作ったCASA。前半20分に相手のバックパスをFW10番手塚がカットしてキーパーと1-1になり冷静にゴールを決めた。

前半終了間際には、DF山内のクリアボールに反応したMF岸田がキーパーと1-1になり、鮮やかなループシュートを打ちゴールを決めた。

チーム	勝ち点	得失点	順位
真岡	22	6	1
CASA	17	3	2
宇都宮	17	16	3

苦しい展開になった。

しかし10番手塚が後半20分に同点ゴールを決めて、ゲームを振り出しに戻した。DF4番佐道のクリアボールに10番手塚が反応してキーパーと1対1になり冷静にゴールを決め

た。逆転ゴールを決めた瞬間試合が終わり、会場が沸いた。今シーズン3戦全勝できたことは、CASAにとって大きな自信になる。

